

平成 24 年第 2 回太良町議会
(定例会第 2 回)

一 般 質 問 通 告 書

太 良 町 議 会

受付 月日	受付 番号	通告者氏名	質 問 事 項 要 旨	答弁者
5.29	1	見陣 泰幸	1. 農業振興対策について (1) 多良岳オレンジ海道を活かす会の進捗状況と今後の考えは。 (2) 現在、太良町の農業は柑橘が主だったが、今後は他の作物への転換が必要と思うが、行政として今後の考えを問う。 (3) 農業技術と農産物の新品種への取り組みが必要と思うが、先進地視察の考えはないか。 (4) 観光農園の取り組みについて問う。 (5) 農地基盤整備の進捗率と今後の対策を問う。 (6) 異業種交流会の進捗と今後の方向性を問う。	町 長
5.29	2	久保 繁幸	1. 教育行政について 新学習指導要領の全面実施で学習内容等が増え、学校現場では、教育活動の充実を重点項目に掲げて検討を続けているとの報道であるが、本町の教育行政について問う。 (1) 中学校の全学年とも、授業時間が年間を通じ相当数増えるとのことだが、授業時間の確保をどのように考えているか。 (2) 佐賀新聞社との協定を結び、小・中学校で新聞を活用した授業の予定だが、年間でどれくらいの回数でどのような効果を期待されているのか。 (3) 中学1、2年生に今年から必修化になったダンスと武道であるが、指導者の確保、研修はどう行っているか。 (4) 新生太良高校になり1年が経過したが、状況はどうか。	町 長 教育長
5.29	3	田川 浩	1. 観光行政について 本町の観光マスタープランが完成し、観光行政の基本となる骨子が出来上がった。そこで、本町の観光に対する今後の計画及び、対策を問う。	町 長

受付 月日	受付 番号	通告者氏名	質 問 事 項 要 旨	答弁者
5.29	3	田川 浩	2. 産業振興について 本町にとって、産業振興と雇用の確保は急務の課題である。そこで、以下の点について問う。 (1) これまでの企業誘致の取り組みと結果。 (2) 企業誘致に関する課題と対策。	町 長
5.29	4	末次 利男	1. 人口減少時代への対応について 九州経済調査会が九州7県の人口推計を発表した中で、2035年の県内20市町で最大の減少率は、太良町が44%減の5,500人となっている。出生率の向上と地元志向を高めることが人口流失の問題のカギと言われているが、以下の項目について問う。 (1) 空き家バンクについて。 (2) 空き家対策条例の考えについて。 (3) 出生率の改善を図るための事業はどのような事をしているか。又、今後の方針は。 (4) 人口減少の中での学校の統廃合について。 (5) 一次産業を核とした新たな産業の事業展開に向けての考え方について。 (6) 一次産業の活性化を図るために、まちづくり講演会等の計画はないか。	町 長 教育長